

令和7年 労働者死傷病報告受理件数表

令和8年3月末確定
群馬労働局

業種別	署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減
製造業		2	2						4	1	3
		115	283	41	238	23	40	5	745	788	-43
食料品製造業		43	118	8	46	7	8		230	250	-20
建設業		53	71	12	38	9	10	9	202	205	-3
										6	-6
木造家屋等建築工事業		3	13	1	3		1	2	23	34	-11
運輸交通業		41	1		1				2	6	-4
			155	15	86	10	10	3	320	358	-38
道路貨物運送業		35	1						1	6	-5
			151	15	80	9	10	3	303	343	-40
林業		1				1			1		1
			2	4		2	1		10	14	-4
小売業		75	141	28	47	22	9	3	325	275	50
社会福祉施設		56	78	26	34	8	7		209	234	-25
接客娯楽業		26	47	4	27	1	1		2	1	1
						26	5	31	166	187	-21
飲食店		19	22	3	17	3	2	2	68	102	-34
上記以外の事業		3	2	1		1			7	1	6
		130	245	34	93	27	25	21	575	585	-10
清掃・と畜業		1		1					2	1	1
		25	57	11	13	5	2	4	117	109	8
計		5	5	1	1	3	1		16	16	
		497	1022	164	563	127	107	72	2,552	2,646	-94
前年同期		3	2	1	4	2	3	1	16		
		529	1027	166	609	125	99	91	2,646		
増減		2	3		-3	1	-2	-1			
		-32	-5	-2	-46	2	8	-19	-94		

災害の種類別

災害の種類別・署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減	
事故の型別	墜落・転落	1	1	1		1		5	7	-2	
		55	152	27	72	21	16	16	359	398	-39
	転倒	168	273	48	134	38	30	26	717	666	51
	はさまれ・巻き込まれ	56	1						1	1	
			110	18	81	14	13	3	295	304	-9
切れ・こすれ	24	66	7	36	10	4	1	148	165	-17	
動作の反動・無理な動作	59	173	30	98	16	16	11	403	455	-52	
起因物別	建設機械等	4	1					1	1		
			15		4	1	1	2	27	16	11
	食品加工用機械	2	23					1	31	37	-6
トラック	1	1			1			3	5	-2	
	28	68	12	38	4	3	3	156	216	-60	
外国人の災害	28	109	10	102	11	5	3	268	242	26	
建設公共工事の災害	7	10	5	9	4	3	3	41	1	-1	
									38	3	

- 注1 この表は、死亡及び休業4日以上労働者死傷病報告を集計しています。
 2 各項目の下欄は死傷者数合計、上欄は死亡者数で下欄の数の内数です。
 3 下の表は災害の種類別で、特に項目を設定して集計しています。
 4 新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除いたもの。

別表 新型コロナウイルス感染症へのり患による労働災害発生状況（業種別内訳）

令和8年3月末
群馬労働局

業種	令和7年	令和6年	対前年
	死傷者数（人）		増減（人）
製造業	2	1	1
鉱業			0
建設業			0
交通運輸事業		1	-1
陸上貨物運送事業		1	-1
港湾運送業			0
林業			0
農業・畜産・水産業			0
商業	3	3	0
うち小売業	3	2	1
金融・広告業			0
通信業			0
保健衛生業	98	359	-261
うち医療保健業	28	188	-160
うち社会福祉施設	70	171	-101
接客娯楽業		2	-2
うち飲食店		2	-2
清掃・と畜業			0
警備業			0
その他	0	0	0
全業種計	103	367	-264

※ 労働者死傷病報告により作成

令和7年 死亡災害事例

令和8年3月末確定
群馬労働局

番号	発生月 発生時間帯 事業場規模	年齢種 職	災害のあらまし	業種	事故の型別	起因物別
1	1月 11時頃 30～49人	60歳代 警備員	市道沿いの工事現場で交通誘導を行っていたところ、走行してきた軽乗用車にはねられた。	警備業	交通事故	乗用車・バス・バイク
2	2月 13時頃 1～9人	40歳代 作業員	かかり木となっていた胸高直径35cm、樹高18mの檜の木を処理するため、かかられている桜の木をチェーンソーで伐倒したところ、檜の木が予定とは異なった方向に倒れ、下敷きになった。	木材伐出業	激突され	立木等
3	4月 8時頃 100～299人	70歳代 作業員	スキー場でコースを点検中(最大傾斜32°)の被災者が、コース内をうつ伏せに倒れて滑り落ちている様子をリフト係員が発見し、平地で止まった被災者に声をかけるも意識がなかった。	その他の接客娯楽業	2メートル以上からの墜落・転落	その他の環境等
4	5月 16時頃 30～49人	40歳代 作業員	工場内の中天井に上がり移動していたところ、明かり取りのウレタンボードを踏み抜き、6.7m下のコンクリート床に墜落した。	その他の金属製品製造業	2メートル以上からの墜落・転落	その他の仮設物、建築物、構築物等
5	7月 21時頃 1～9人	60歳代 運転手	随伴車両で乗客の車を追走中、道路わきの電柱に激突した。	その他の道路旅客運送業	交通事故	乗用車、バス、バイク
6	7月 8時頃 10～49人	40歳代 作業員	化学工場の設備点検のため、設備の屋上(高さ26.0m)にて作業中に墜落した。	ガス業	2メートル以上からの墜落・転落	作業床、歩み板
7	7月 16時頃 10～49人	40歳代 作業員	事業場の屋外にて清掃作業を行っていたところ、熱中症を発症して意識を失い救急搬送された。その後、病院で療養していたが数か月後に容態が急変した。	産業廃棄物処理業	高温・低温の物との接触	高温・低温環境
8	8月 4時頃 300～499人	20歳代 作業員	化学物質の製造ラインにおいて、当該物質を加圧する加圧槽の配管が爆発し、巻き込まれた労働者が熱傷性ショックで死亡した。	無機・有機化学工業製品製造業	爆発	圧力容器
9	9月 20時頃 50～99人	50歳代 警備員	高速自動車道の道路補修現場において、工事車両の誘導を行っていたところ、後進してきたダンプトラックに激突された。	警備業	交通事故	トラック
10	9月 17時頃 10～49人	40歳代 作業員	敷地内の碎砂ストックヤードにおいて、下部に設置されたホッパーに砂を落とす作業を行っていたところ、堆積された砂を滑り落ち、砂に埋もれた。	セメント・同製品製造業	崩壊・倒壊	石、砂、砂利

番号	発生月 発生時間帯 事業場規模	年齢種 年職	災害のあらまし	業種	事故の型別	起因物別
11	9月 15時頃 1～9人	70歳代 作業員	碎石場にて除草作業中、被災者の姿が見えないため探したところ、約21m下の崖下に倒れているのを発見した。	その他の 廃棄物処理業	2メートル 以上からの 墜落・転落	地山、岩石
12	9月 10時頃 10～49人	50歳代 作業員	敷地内の鶏糞処理作業場において、運転していたトラックを壁に激突させたため、確認のためにトラックから降りたところ、後進してきたホイールローダに激突された。	畜産業	激突され	整地・運搬・ 積込み用機械
13	10月 15時頃 10～49人	60歳代 作業員	ゴルフ場内のカート通路において、立木の枝切作業を行うため三脚脚立（高さ3.47m）を使用して作業していたところ、バランスを崩し、地面に墜落した。	ゴルフ場	2メートル 以上からの 墜落・転落	脚立
14	11月 10時頃 10～49人	60歳代 作業員	牛舎小屋(複数の牛のいる)内で、給餌や清掃作業を行っていた被災者が倒れているのを別の作業員が発見した。	畜産業	激突され	その他の起因 物
15	11月 15時頃 1～9人	40歳代 作業員	事業場内で4 tトラックの修理作業を行っていた被災者が、同トラックの後輪に巻き込まれているのが発見された。	特定貨物自動車 運送業	はさまれ、 巻き込まれ	トラック
16	12月 15時頃 1～9人	70歳代 作業員	トラックを運転して国道を走行中、信号待ちで停止していた大型トラックに追突した。	その他の卸売業	交通事故	トラック

注) 記述内容は上記期日時点の情報を取りまとめたものであり、今後、変更になる可能性があります。